

学びサポート企画部

徳島大学 工学部 2年 片山 裕之 徳島大学 総合科学部 1年 下村 宗央
 徳島大学 総合科学部 3年 枝川 恵理 徳島大学 総合科学部 1年 畑中 唯菜

はじめに...

大学教育において、近年は学生の主体的な学習を促進することが強く叫ばれており、学習環境の整備も課題の1つとして挙げられる。このような背景のもと、附属図書館に学生の自学スペースやグループ学習を行うラーニング・コモンズを整備する大学が増加している。徳島大学でも2012年にラーニング・コモンズを設置した。

本発表では、徳島大学で学習支援活動を行う学びサポート企画部がこれまでにやってきた取り組みの概要を説明するとともに、本活動の特色とも言える学生と教員と図書館の協力について報告する。

学びサポート企画部とは？

学びサポート企画部は、「大学生の日々の学習における躓きに対する学習支援を行うとともに、学習をするために必要な基本知識・技能を習得する場や機会を創ることで、大学生の学習スタイルの向上、改善を行う」という活動理念のもと、主に図書館で学習支援活動を行っている。2015年8月現在、メンバーは学生5名、教員1名、図書館職員4名となっている。

学習支援



Study Support Space (SSS)

①概要説明

<目的>

教員・大学院生・学部学生が学習アドバイザーとして、図書館で大学生の学習に関する相談に対応する。

<実施場所> 徳島大学附属図書館 1Fピア・サポートルーム

<対応日時> 平日の14:00~19:00

<アドバイザー> 教職員12名、大学院生6名、学部学生5名
(2015年8月現在)

<対応科目>

数学、物理、化学、生物、英語、レポートの書き方、他

②業務内容

<学びサポート企画部メンバーの業務内容>

- ・アドバイザーの候補検討・依頼
- ・アドバイザーとの情報交換・運営課題検討
- ・時間割の作成
- ・広報戦略の検討・広報活動
- ・相談者・相談内容のデータ管理
- ・SSSの効果検証
- ・相談者アンケートの確認対応

<アドバイザーの業務内容>

- ・相談者の学習相談に対応
- ・相談内容を「相談者管理シート※」に記入

※相談者管理シートとは、アドバイザーが相談者の学部・学科・学年・相談内容などを記入するシートである。また、このシートを通じてアドバイザーと学びサポート企画部メンバーが、運営上の課題等の情報交換を行っている。

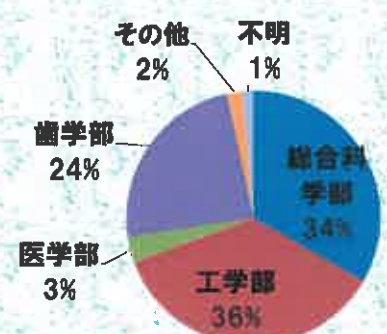


←SSSを実施している
図書館1F
「ピア・サポートルーム」

③これまでの実績

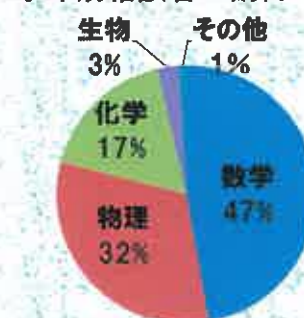
年度	実施日数	前期相談者数	後期相談者数	累計相談者数
2013	153日	210人	142人	352人
2014	151日	180人	214人	394人
2015	75日	150人		150人

<2015年度前期の実績>



学年別相談者の割合

学部別相談者の割合



学習に関する相談内容 (N=110)

学習以外の相談内容 (N=32)

※150件の相談のうち、雑談が7件、内容不明が1件含まれている。

<相談者の傾向>

- ・相談者の半数以上は一年生であった。
- ・学習に関する相談内容のほとんどが理系科目であった。
- ・工学部、総合科学部、歯学部の相談者数が多かった。

<今後の課題>

- ・相談者数が減少しているため、広報戦略を検討する必要がある。
- ・ピア・サポートルームをより相談者が入りやすい空間にしていく必要がある。
- ・昨年に比べて、文系科目の相談者数が大幅に減少している。
- ・昨年に比べて、4月の相談者数が大幅に減少している。